

## 平成18年度長崎大学解剖体慰霊祭挙行



弔辞を述べる学生代表



献花を捧げる参列者



謝辞を述べる河野医学部長

医学・歯学の発展のため自らの身を捧げられた方々の御霊に感謝し、ご冥福をお祈りする平成18年度長崎大学解剖体慰霊祭が、11月9日(木)、医学部記念講堂において、ご遺族、余光会(系統解剖のために献体することを目的とする篤志家の団体)会員をお招きし、河野医学部長、六反田歯学部長ほか学内外関係者並びに学生ら約340人が参列する中で厳かに執り行われました。

医学部及び歯学部には、人体の形態や正常構造等を学ぶための学生実習として行う解剖(系統解剖)や病気の原因・治療効果の病的変化を調べるために行う解剖(病理解剖)のために、この1年間で77体のご遺体をご提供されました。

医学部及び歯学部学生による演奏の中、医学部学生代表の献花に始まった慰霊祭は、医歯薬学総合研究科生命医科学講座肉眼形態学分野の岡本助教授と同研究科生命医科学講座探索病理学分野の下川教授による新霊位御尊名奉読の後、参列者全員による黙祷を行い、河野医学部長が「尊いご遺体のご提供は、長崎大学の医学・歯学の教育並びに基礎及び臨床研究の進歩と発展に対する、何物にも代えがたい、最も大きな貢献でありました。」と慰霊の辞を捧げられました。また、関係教室代表、余光会会長の弔辞に引き続き、学生を代表して歯学部の岡部優花さんが「医学・歯学の更なる発展のためにご献体くださいました方々、深いご理解を下さいましたご遺族の皆様方の崇高なる御心にそむかぬよう学業に励み、将来、立派な医師・歯科医師となることを誓います。」と弔辞を述べました。

その後、医学部及び歯学部学生による演奏が流れる中、参列者全員が白菊を祭壇に献花して、御霊のご冥福をお祈りしました。

ご遺族代表の岸川忠弘氏から「これからの医学・歯学の将来を担った学生の方々の活躍を期待致します。」との挨拶の後、「医学・歯学の発展のためにという尊いお気持ちを大切に努めて参ります。」との河野医学部長の謝辞を最後に、式は滞りなく終了しました。

(医歯薬学総合研究科学術協力課)